



2026.8

ミニ
情報

オウサマペンギンの産卵

ポーラーアドベンチャーの「ペンギンの岬」で、今年もオウサマペンギンの産卵が始まっています。オウサマペンギンは、巣をつくらずに卵を足の甲の上に乗せ、お腹の皮をおおいかぶせて温めます。卵は55日ほどでふ化しますが、この間に卵が割れてしまうことがあるため、偽の卵と取り換え、気温と湿度を調整した専用のふ卵器に移して安全に管理します。ふ化が近くなり、ヒナが卵を破る「ハシウチ」が始まると親鳥に卵を戻して見守ります。